

令和8年度入学試験問題（前期日程）

# 小 論 文

初等教育教員養成課程  
小学校教育専攻プログラム

## 注意事項

1. 解答は、すべて別紙解答紙の指定の箇所に横書きで記入すること
2. 解答紙には必ず受験番号を記入すること

〔問〕 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

理解するとはどういうことか、心理学では「表象」という言葉をつかって表現しています。表象とは、情報やものごとを頭の中に再現したもののことです。私たちは目の前にあるものだけでなく、目の前にないものも頭の中に思い浮かべることができずね。これが表象です。

文章を読んだときも、私たちは「表象」を作ります。私たちが読んで理解するということは、文章として自分たちの外に置かれている世界を自分の頭の中に再現することだということです。この「世界を再現すること」を「表象を作る」とか「表象構築」と呼ぶのです。

表象構築がうまくできたとき、つまり「理解できた」というとき、私たちはどのような状態になるでしょうか。表象構築ができる、とはつまり、書かれている世界が頭の中に再現できる、ということでした。この表象構築には①二つの異なるレベルを考えることができます。第一のレベルは、「書いてある内容が整理されている」レベルで、これを「テキストベース」の理解と呼んでいます。物語を読んでいるときであれば、「だれが何をしてその結果どうなったのか」あらすじが把握できるというのが表象を構築できたということになります。つまり、あらすじを語れるようになる、とか、「桃太郎からキビ団子をもらったのは誰？」というような質問に答えられることがテキストベースのレベルで表象が構築できたことの表れになります。マニュアルの文章や教科書を読んでいるときも同様に、書いてある内容を要約することができる場合にはテキストベースのレベルでの表象が構築できた、と考えます。教科書を読んだ後で「三角比とは何か」というような質問に、「直角三角形の辺の比のことで、たとえば高さを斜辺で割ったのがサイン」と答えられればテキストベースのレベルでの表象構築がうまくできた、と言えます。

もう一つの表象構築のレベルは、「状況モデル」と呼ばれています。「テキストベース」は書いてある内容を頭の中に再現することでしたが、状況モデルでは読み手がもともと知っていることや読んで推論した内容も取り入れて「世界の再現」が行われます。たとえば次のような文章を読んだときのことを考えてみましょう。

騒がしいテレビを消すと、急に深夜の静けさが際立ってくるようだった。玄関を出ると息が白かった。「寒いなあ」とつぶやくと、それに応えるように、近くのお寺の鐘の音が響いてきた。煩惱の数だけ鳴るらしい。

いかがでしょうか。読んで「世界が再現」されましたか？それを確かめるために質問を二つしてみたいと思います。

第一問「登場人物はどこで鐘の音を聞きましたか？」

答えは「玄関の外」あるいは「家の外」ですね。ここまでは文章に書いてある内容（玄関を出る）から分かりますから、テキストベースで答えることができます。では次の質問はどうでしょうか。

第二問「何月何日の出来事が書かれているのでしょうか」

答えは「12月31日（から1月1日にかけて）」ですね。しかし、これは文章中には一文字も書いてありません。なぜこれが分かったのでしょうか。分からなかった人もいるかもしれませんね。どこに違いがあるのでしょうか。

ここで第二問に答えられるかどうかは、どのような「状況モデル」を構築したかによって異なります。「深夜にお寺の鐘が鳴る」「煩惱の数（108回）鳴る」というのは除夜の鐘を表しているということを知っている場合は、その知識を使って「12月31日の深夜の出来事だ」という表象を作ることができます。しかし、これを知らない場合や、知っていてもそれを使って考えなかった場合には、この状況モデルは作られません。書いてあることに加えて、自分の知識や推論を含めた表象を作ることが「状況モデル」を作るとのことなのです。

（出展） 犬塚美輪（著）『読めば分かるは当たり前？ 読解力の認知心理学』 ちくまプリマー新書、2025年、pp.21-26（設問の都合により本文の一部を改変している）

(問 1) 下線部①について、「二つの異なるレベル」とは、それぞれどのような状態ですか。それぞれの内容と、二つがどう違うかについて、本文の言葉を用いつつ 100 字以上 150 字以内で説明しなさい。

(問 2) 下線部①について、小学校の教室に「片方のレベルは達成できるが、もう片方のレベルは難しい」という子どもがいたとき、あなたはどのような工夫を行いますか。400 字以内で論じなさい。なお、「片方のレベルは達成できるが、もう片方のレベルは難しい」子どもとして、どのような子どもを想定したか具体的に説明してから議論すること。